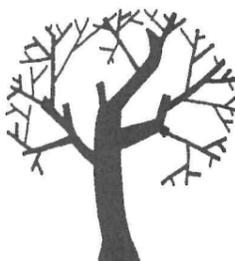


全国協議会 ニュース

発行所
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒130 東京都墨田区
東駒形1-16-7
第1ホークプラザ303号
TEL.(03)3625-7307
発行責任者
運営委員長 渡辺孝一

郵便振替口座
東京 5-15754
銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655



無菌室が空くのを待っている 患者は245名もいる 移植施設の拡充整備を

無菌室待機状況(平成5年11月25日現在)

移植可能時期	施設数
いつでも 11月より	7
平成5年 12月	9
平成6年 1月	17
2月	11
3月	13
4月	9
5月	4
6月	1
受け入れ困難	2
その他(相談に応じる)	1
無回答	10
合計	84

非血縁者間の骨髄移植指定病院は全国に八十四施設あり、無菌室は百七十七床です。去年十一月二十五日現在で財団が調査した結果、こうした施設で無菌室の空きを待って移植できない患者が二百四十五名います。無回答が十施設もあり、その数はもっと多いのが現実です。この待機患者の数は受け入れを認められた数

で、無菌室を持たない病院や、非血縁の移植指定外病院の主治医を持つ患者の数を含めると、実数は倍以上になるものと推定できます。

また待機期間は平成四年八月の厚生省調査では平均二・四ヶ月であったのが、今では六ヶ月程度になっているものと思われまます。これは骨髄バンクの本格稼働で、ドナーを得て骨髄移植に臨む患者が激増しているからに他なりません。

既に非血縁者間の移植は一年間で百例になろうとしており、これまでの血縁者間移植の年間五百例に加わることになっていきます。施設の中には、血縁者間移植を優先しようとしているところもあり、非血縁は二の次にされる傾向があります。

何のための骨髄バンクなのでしょう。これでは骨髄バンクの本当の機能は発揮できません。どうしても骨髄移植医療体制の拡充と整備を急がねばなりません。

全国協議会では、そのための百万人署名運動を今展開しています。国民世論の力でこの状況を改善して行くことは絶対必要なのです。

〈患者の声〉 施設が満員で ドナーはキャンセル

私は平成四年八月に患者登録し、幸福にも最終検査まで行ったドナーの方が二名ほどいましたが、非血縁者間という事で受け入れ施設が満員で、結局ドナーはキャンセルされました。その経過も主治医に聞いてもはつきり話をしてくれませんでしたし、財団に問い合わせても本人には何も

も言えないと、説明してもらえませんでした。主治医はあれほど移植をすすめていたのに、急に移植はしないで治療だけしようといわれまして、受け入れがしてもらえないのわかりませんが、患者は不安なのです。……早くどうにかしてほしいと思います。
(匿名・東京)

13人のドナーが体験語る 骨髄バンク推進 全国大会'93

財団主催、全国協議会協力による「骨髄バンク推進全国大会'93」が、十二月十一日に早稲田大学大隈講堂で開かれました。

一部のセレモニーに続いて、二部の記念講演は評論家でノンフィクション作家の柳田邦男さんが「いのちを救う医療」と題して話をされました。

三部では、大谷さんの司会で十三名のドナー経験者が壇上に並んでの座談会が行われました。それぞれのドナーからは、「家族の説得が大変だった」「患者からの手紙を何度も読みかえし、喜びをかみしめた」「あまりに大変だったの、他の人へは褒められない」などの感想のほか、今後のバンクに対する要望として、民間にもドナー休暇の導入をして欲しい、三次検査後、半年も何の連絡もなかった。随時連絡が欲しい、などが出されました。

ドナーの生の声に、発言のつど会場から大きな拍手がおき、有意義な座談会でした。

ただ、事前宣伝の不足もあった為か、参加者があまりに少なかったのが残念でした。

12月は富山が新加盟!

十月には苫小牧・愛媛・マホネットの三団体が、また十一月には岩手が全国協議会に加盟しましたが、十二月には富山県のボランティア団体「富山県骨髄バンクを広める会」の加盟が十二日の全国協議会全国代表者会議で承認されました。秋以降次々と新規加盟団体が増え、全加盟団体はこれで二十三団体となり、一層全国協議会の組織化は強固になっていきます。新しい全国協議会の仲間、富山からメッセージが届いています。

十二月十二日の代表者会議において、富山県骨髄バンクを広める会も全国協議会の仲間入りを行いました。平成五年の春までは影も形もなかったこの会も今では、支援の和が広がり、また、岐阜をはじめとするたくさんの方々のボランティア団体の方々のご協力を得て、初めてのシンポジウムも予想を上回る二百人近くの参加者を募ることができました。これからも、一人でも多くの方にバンクへの理解が深まることを目指して頑張ります。



連絡先
富山県骨髄バンクを
広める会
〒939-02 富山県射水郡
大門町二口771
電話 0766-52-4823
FAX 0766-21-2614



公的骨髄バンクの13人のドナーたち

そして、心が動きだす。

あなたと伝えあえたら、うれしい。

あなたとわかりあえたら、うれしい。

いつでも、どこでも、あなたと……

そんな心と心がふれあうシーンに、わたしたちNTTは、いつも一緒にいたい。

ピアノ三重奏の夕べ

—関東4会場で盛大に開催

オーストリアの音楽の都ザルツブルグを拠点に世界中で演奏活動をしているサンクト・フローリアン・ピアノ三重奏団による骨髄バンク支援チャリティーコンサートが、十一月二十六日から三十日まで、埼玉・千葉・神奈川・東京のボランティア四団体の主催で行われました。このトリオはオーストリアの音楽仲間、白血病患者がいることから、骨髄バンクのためコンサートを開きましようという提案されたもので、前年に引き続き、今回が二回目となりました。各会場とも聴衆は、素晴らしい本場のクラシック音楽にたっぷり酔いしれることができました。

なお、コンサートの収益金から、各地四団体がそれぞれ十五万円、合計六十万円が全国協議会に寄付されました。サンクト・フローリアン・トリオの皆さん、本当にありがとうございました。また来年もよろしく願います。



サンクトフローリアントリオ(11/30東京)



各地のたより
写真を添えて
お寄せ下さい。

北海道 二都市で市民の集い

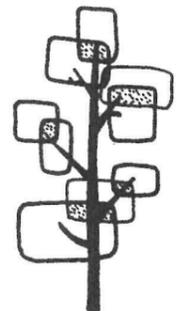
「骨髄バンクを知る市民の集い」を二つの都市で開催。いずれも「骨髄移植とは」の教育講演と地元文化人の出演による文化講演をセットにしたもので午後六時半から二時間。

十一月十九日開催の函館市

埼玉 イベントの秋、大忙し

埼玉連絡会では、恒例の読書感想文コンクール発表式を十二月四日(土)に行いました。五月の課題図書を選定から七月、立派な文集が出来ました。

県担当課と協力してのパネル展も、十一月十三日から一週間、県庁ロビーにて開催されました。骨髄バンクを説明



福岡

本屋さんにも、骨髄バンクの本を並べてもらおう



うだうだ、という提案があり、早速、本のリストを作って、福岡の中心地にある本屋さんにアプローチしました。

電話で店長さん、仕入れの担当の方にアポイントがとれたのが四店。いずれの方も、これまで骨髄バンクについてあまりご存知なかったけれど、すぐご理解下さり、協力を承けて頂きました。

骨髄バンク、白血病関係の本は、問屋さんに在庫が少なく注文はしてあるがまだ届かない、といったことで、大々的に実行というのは困難だったようです。今回はもつと準備に時間をとる必要がありそうです。(写真は紀伊国屋書店福岡店)

岐阜 インド音楽の集い

十二月八日大垣市スイトピアセンター音楽堂で「インド音楽の集い」を開催いたしました。これは、骨髄バンクに関心を持っていない市民の方にも骨髄バンクを知っていただくには、音楽を通してのPRをと考えて行ったものです。当日は全国各地で演奏活動を行っているシタール演奏家の伊藤公朗さん、タブラ演奏家の吉見征樹さんによる演奏

と、大垣ママさんコーラスによる「明日を生きる」の合唱を楽しむ一方、「あなたの善意を骨髄バンクに」のビデオで骨髄バンクを理解して頂きました。

なお、入り口ホールでは骨髄バンクのパネル展を行うとともに、署名活動も合わせて行ない、一般の方への骨髄バンク普及啓発活動を行ないました。

千葉 東ちづるさんとシンポ

十一月三日の文化の日、千葉大学の大学祭で千葉連絡会の協力によるシンポジウムが開かれました。

大学祭は医学部等のある亥鼻地区の「るのはな祭」と、その他の学部のある西千葉地区の「千葉大祭」の二会場で行われ、大谷さんのご尽力によって、あの有名な東ちづるさんをお呼びしてのシンポジウムでは、約二百名の参加者で立ち見の人が出るほどの盛況。また「千葉大祭」の方も、シンポジウム前か



都道府県別ドナー登録者数(平成5年11月末現在)

	11月分	累計
北海道	119	2,276
青森	26	272
秋田	13	222
岩手	30	150
宮城	48	657
山形	20	148
福島	31	512
茨城	20	541
栃木	34	488
群馬	18	363
埼玉県	20	774
千葉県	59	928
東京都	300	6,401
神奈川県	113	1,986
新潟	32	834
富山	26	193
石川	25	262
福井	12	129
山梨	9	136
長野	24	472
岐阜	47	580
静岡県	58	1,063
愛知県	139	2,187
三重	44	509
滋賀	32	469
京都	66	1,320
大阪	225	2,511
兵庫県	78	1,087
岡山	32	377
広島	13	137
鳥取	11	81
島根	16	181
山口	32	579
徳島	51	1,014
香川	16	337
高松	18	154
愛媛	10	140
高知	10	214
福岡	5	145
佐賀	87	1,452
長門	10	214
熊本	23	299
大分	29	349
宮崎	14	200
鹿児島	13	218
沖縄	35	471
合計	15	218
	2,108	34,250

心からのご寄付をありがとうございました

11月26日~12月20日まで

高津照雄	現金	10,000
国際婦人福祉協会	現金	50,000
佐藤美穂	切手	360
(株)フライング・ボックス	切手	360
阿原一良	現金	10,000
所属団体有志一同	現金	27,000
東井朝仁	現金	100,000
江戸川子ども劇場	現金	1,480
多湖慶子	切手	324
渡辺清実	現金	10,000
廣瀬 稔	現金	10,000
ヨシダノブコ	現金	3,000
マツオチエコ	現金	5,000

(順不同 敬称略)

活動資金の援助をお願いします

銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655
郵便振替口座
東京 5-15754
全国骨髄バンク推進連絡協議会



頭痛のタネ、肩の重荷、首がまわらない、不景気な顔、足の引っぱりあい、勇み足、骨肉の争い、明日胃カメラ、プレッシャー、取り越し苦労、空まわり、板バサミ、ムカムカ、イライラ、モヤモヤ、ムシャクシャ、ギクシャク、セクハラ、未練タラタラ、内気、エッチ、良心の呵責、永すぎた春、単身赴任、親子の断絶、理由なき反抗、五里霧中、四面楚歌、諸行無常、煩惱、出来心、退屈、理想と現実のギャップ、失意のどん底、お先まつ暗、不吉な予感、気のせい、ツキがない、楽しくないでお悩みの方に、フジテレビ。

フジテレビ

橋本明子著
翔べ！白血病の息子よ

息子の発病を機にバンク運動を始めた。しかしバンク設立と入れ替わるように息子は逝ってしまつた。闘病と運動の息詰まる日々を「月刊Asahi」連載の同時進行ドキュメントより

46判二四四頁、一七〇〇円

海鳴社
東京都千代田区西神田2-4-5
(03) 3234-3643(Fax共通)